

自治体の課題、現状

【現状】

- ・財政難
- ・少子化により、生徒の数が年々減少している
- ・学校によっては、人数不足のため合同チームで活動をしているところがある。

【自治体の課題】

- ・公共交通機関が少ないため、保護者による送迎が必要不可欠となり、生徒の移動手段に制限がでてくる。

地域スポーツクラブ活動等の概要

中学校数	5校	全生徒数	1,491人
域内の部活動数	41部	実施した地域クラブ数	5クラブ
全体の指導者数	33人	全体の運営スタッフ数	26人
主な運営団体	NPO法人かしまスポーツクラブ（かしま地域クラブ） 鹿嶋市剣道連盟（かしま剣道教室）		
主な種目	・バスケットボール、バドミントン、ソフトテニス、卓球 ・剣道		
平均的な活動回数	2～4回/月	年間平均参加生徒実数	13名程度/回
参加会費	500円/回 R6年度は徴収無し	主な活動場所	市内公立中学校

地域移行関連の取組、成果

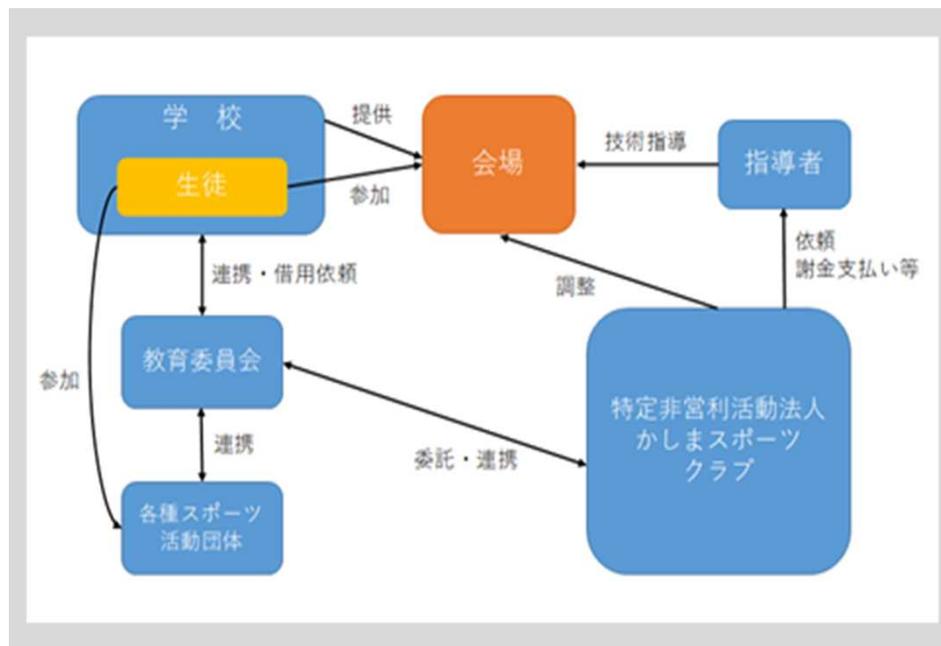
【地域移行関連の取り組み】

- ・地域クラブ体験会を令和6年12月に実施。
- ・かしま地域クラブを令和7年1月から開始。
- ・かしま剣道教室を令和7年1月から開始。

【地域クラブの成果】

- ・かしま地域クラブでは、回を重ねるごとに参加者数が増え、計6回開催し、延べ82名の生徒が参加した。
- ・かしま剣道教室では、各中学校の剣道部の顧問へ依頼をして、生徒募集を行うことで、参加者を増やす取り組みを行った。

運営体制図



令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

茨城県鹿嶋市

自治体名： 茨城県鹿嶋市
担当課名： 教育委員会事務局スポーツ推進課
電話番号： 0299-82-2911

本報告書は、スポーツ庁の「令和6年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業（運動部活動の地域移行等に向けた実証事業）」の一貫として、茨城県が実施した「令和6年度運動部活動の地域移行に向けた実証事業」の成果をとりとめたものです。

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	106.04 km ²
人口	64,623 人 R7年2月1日現在
公立中学校数	5 校
公立中学校生徒数	1,491 人
部活動数	41 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	未策定

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

【現状】

鹿嶋市では、部活動の地域展開について、**基本的にスポーツや文化芸術活動を楽しむことを主な目的としている。**

子どもたちのためでもあるが、**地域住民がスポーツや文化芸術に親しむ環境を向上するための一つの手段**であるという認識のもと、教育指導課、スポーツ推進課、社会教育課と連携しながら体制を整えている。

スポーツ競技では、市内中学校で活動している9つの競技（**サッカー、軟式野球、ソフトテニス、バドミントン、バスケットボール、バレーボール、卓球、柔道、剣**

道）を地域展開できるよう調整しており、令和6年度では、5つの競技（**ソフトテニス、バドミントン、バスケットボール、卓球、剣道**）を地域クラブとして実施。

剣道は、市剣道連盟主体のクラブが受け皿となり、その他4競技については、かしまスポーツクラブへ業務委託し、活動を開始した。

【課題】

地域クラブ活動の参加者が思うように増えないため、周知方法の改善や新たなPR方法を模索していく必要がある。

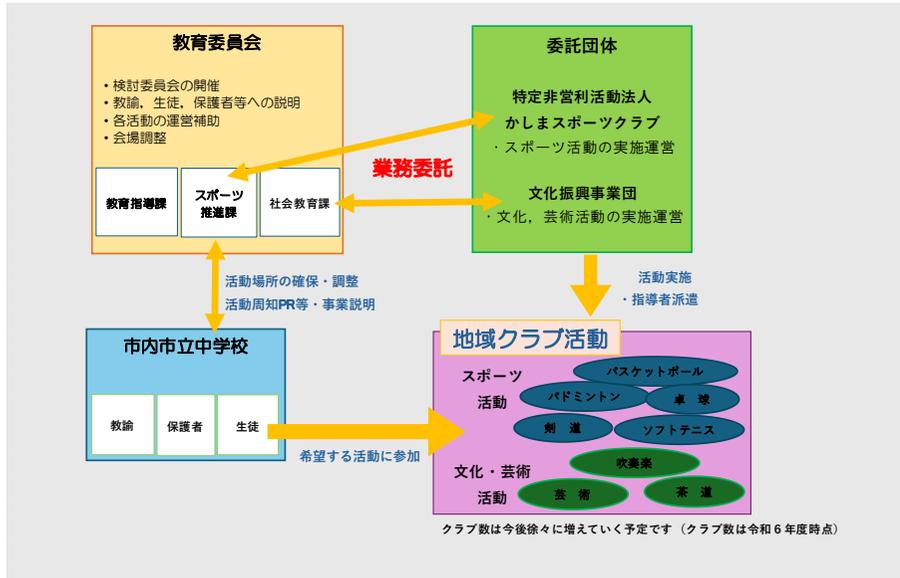
補助金への依存が強い運営体制になっているため持続可能な体制づくりが必要不可欠となる。

種目によって、協力できる指導者が少なく、活動が開始できないため、関係者、団体との密な連携が必要になる。

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- 教育指導課，スポーツ推進課，社会教育課の3課で役割分担している
- ・教育指導課：検討委員会の開催，今後の方針策定など
 - ・スポーツ推進課：スポーツ活動の運営補助，会場調整，環境整備など
 - ・社会教育課：文化・芸術活動の運営補助，会場調整，環境整備など

◎首長部局

役割なし

年間の事業スケジュール

- 令和6年8月 第1回検討委員会開催
- 令和6年8～10月 各競技団体・委託先との打ち合わせ実施
(受け入れ可否，地域クラブの新設について)
- 令和6年11月 第2回検討委員会開催
- 令和6年12月 地域クラブ体験会実施
(バドミントン，ソフトテニス，卓球)
- 令和7年1月 かしま地域クラブ活動開始
(バドミントン，ソフトテニス，卓球，バスケットボール)
かしま剣道教室活動開始
- 令和7年2月 第3回検討委員会開催

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	5校	実施した地域クラブ総数	5クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		0クラブ
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		5クラブ
全体の指導者数	33人	全体の運営スタッフ数	26人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
かしま地域クラブ	特定非営利活動法人 かしまスポーツクラブ	バドミントン 卓球 ソフトテニス バスケットボール	月 2～4 回	9時～12時 または 13時～16時	市立中学 1年生～ 3年生	令和7年 1月～	市立中学校	15人	8人	今年度は徴収しない	現段階で大会参加はしない
かしま剣道教室	鹿嶋市剣道連盟	剣道	月 1回	9時～11時 18時～20時	市立 小学1年生～ 中学2年生	令和7年 1月～	市立中学校・公民館	18人	18人 (兼務18人)	月会費 500円/回	中体連は各学校で出場

③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 12月22日 地域クラブ体験会の実施（3競技）
バドミントン、ソフトテニス、卓球

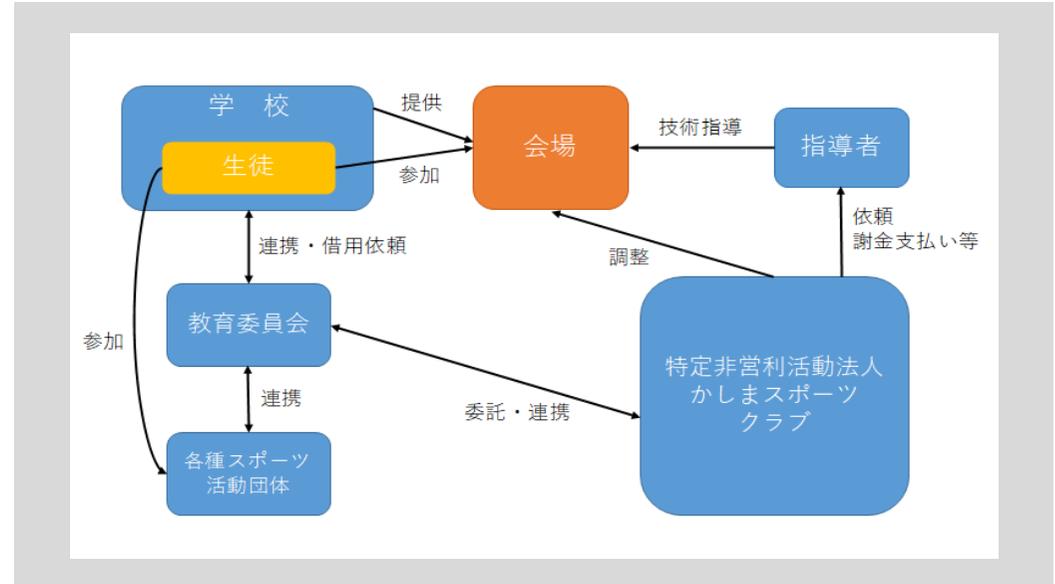
2.実証内容と成果

主な取組例

●かしま地域クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	バスケットボール, バドミントン, 卓球, ソフトテニス
運営団体名	特定非営利活動法人 かしまスポーツクラブ
期間と日数	各競技 月2～4回 雨天中止や人数不足の場合に減少
指導者の主な属性	かしまスポーツクラブ関係者
活動場所	市立中学校 (体育館・庭球場)
主な移動手段	保護者の送迎, 自転車
1人あたりの参加会費等 (年額)	今年度は徴収しない
1人あたりの保険料	今年度は行事保険に加入

●運営体制図 (地域クラブ活動を実施する際の運営体制図)



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●コーディネーター

役割：指導者調整，地域クラブ活動とりまとめ，生徒・保護者への連絡等

●主任指導者 15名

役割：競技指導の実施，活動報告

●運営補助者 8名

役割：地域クラブ運営補助，施設のカギ開け等

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- 教育委員会内で連携することで、学校等の関係団体との連絡調整を円滑に進める。
- 持続可能な組織体制の整備を行う。
- かしまスポーツクラブに参加申し込みから生徒への案内、指導者募集等を行ってもらい、関係者間での連絡手段として、アプリ「Sgrum」を活用し、生徒や保護者、指導者等が1つのアプリで円滑な連絡調整を行う。

取組の成果

- アプリを活用することで、生徒・保護者・指導者・事務局が実施内容を共有することで円滑な連絡体制を構築することができた。
- かしまスポーツクラブと連携することで会員やクラブの繋がりから、指導者を探すことができた。
- 教育委員会内で連携することで、学校への依頼や生徒への情報発信等を円滑に進めることができた。

コーディネーターの具体的な動きの実績

- ・指導者の手配
- ・各スポーツ団体や学校へヒアリング等を実施し、現場の声や実態把握
- ・生徒、保護者、指導者への連絡調整

今後の課題と対応方針

- ・コーディネーターへの負担が大きいため、適切な事務分担が必要となる
- ・運営体制の見直し
- ・かしまスポーツクラブで活動実績のない部活動の指導者調整

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

○実証事業をかしまスポーツクラブに委託することで、各スポーツ実践者との連携強化を図った。
 ○かしまスポーツクラブ以外の団体との連携を深めるため、各種協会や関係団体と連絡調整等の打ち合わせを行った。

種目

- ・バスケットボール
- ・ソフトテニス
- ・バドミントン
- ・卓球
- ・剣道
- (市連盟主体)

資格有無

資格の有無関係なしに指導者募集を行っている
 概ね活動する競技の実践者を対象としている

取組の成果

- 指導者を15名確保した（右記のとおり）
- 教育委員会、受託者、各スポーツ団体、学校で情報共有・意見交換を行った。
- 公立中学校で実施している部活動（9競技）の実施に向け、重点的に取り組んだ。

かしま地域クラブ指導者一覧

No	氏名	種目	資格等
1	佐藤 春雄	ソフトテニス	
2	山口 淳子	ソフトテニス	
3	西川 悠子	ソフトテニス	
4	石津 美代子	卓球	・部活指導員 ・卓球コーチ ・バラスポーツ指導員
5	大川 純平	卓球	
6	柏葉 和也	卓球	
7	萩原 好夫	バドミントン	・JSPOスタートコーチ ・中学社会第1種教諭免許
8	松本 恒夫	バドミントン	
9	早川 修	バスケットボール	・JBAライセンス ・JSPO公認
10	落合 由美子	バスケットボール	・JISA認定員
11	内田 愛生	バスケットボール	
12	寺田 史恩	バスケットボール	
13	齋藤 有菜	バスケットボール	
14	齋藤 光規	バスケットボール	
15	鬼澤 友美	バスケットボール	

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

○校長会や教育懇談会等において、地域クラブの取り組みと現状についての説明を実施。

○地域クラブ検討委員会を開催し、教育に関わる多くの方の意見を取り入れ、より良い改善を実施。

取組の成果

○校長会や教育懇親会等において、スポーツ活動の取り組みについて説明し、学校関係者や教育関係者への理解を深めた。

○学校の協力を求め、市内中学校及び県立学校、市立学校への事前周知や募集チラシの配布を行った。

○剣道競技について、指導者確保や運営までを鹿嶋市剣道連盟が主体となって実施することで、自走可能な仕組みづくりを進めることができた。

今後の課題と対応方針

○運営の効率化や業務分担の観点から多様な団体に参画してもらう必要があるため、連携強化を図る。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

取組事項

- 地区別の意見交換会や県主催のシンポジウムに参加し、多くの自治体の状況確認や情報交換をした。
- 地域クラブに参加できる生徒を市内に限らず、近隣市町村等の市外の子も受け入れられる体制整備を行う。

各自治体の役割

- 鹿嶋市教育委員会（教育指導課）
- ・検討委員会の開催（スポーツ推進課）
- ・学校との会場調整
- ・チラシ配布や事業説明等

事務局運営の方法

- 委託先NPO法人かしまスポーツクラブに事務局を設置。
- コーディネーターを配置し、指導者の手配等の連絡調整を実施

取組の成果

- かしま地域クラブ活動に参加した生徒は、延べ82名で市内すべての公立中学校から参加があった。（4競技//1月・2月で計6回）

今後の課題と対応方針

- 令和7年8月末までに、現在活動している休日のスポーツ部活動を地域クラブへ展開する。
- 平日部活動の展開が今後の課題となる。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実①

取組事項

○参加できる競技に制限を設けないことで自分のやりたい競技ができるような活動とした。

○新たなクラブとして立ち上げることで、他校の生徒との交流を深められる環境とした。

○各競技の実践者から直接指導を受けることで、技術向上も図っていく。

活動の詳細			
参加人数	延べ82人	指導者数	15人
属性	かしま地域クラブ（4種目：バスケットボール・バドミントン・ソフトテニス・卓球）		
具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> 基礎練習から応用練習など。実践形式での試合等 個人個人に沿った指導 スポーツを通して、スポーツの楽しさを体験することや興味関心を深めることを目的とする 		
子供の声	<ul style="list-style-type: none"> 指導者から実践的なアドバイスをもらえてよかった たくさん人が増えると楽しくなった 他校の生徒と交流できて楽しかった 		
関係者の声	<ul style="list-style-type: none"> 部活動が地域以降する中で新しく活動できる場所ができて助かる 指導者として少しでも地元の子たちのためになれば良いと思う 参加する生徒が増えるにより実践的な練習ができる 		
運営経費	会場使用料：なし（公立中学校（庭球場・体育館）を借用のため） 指導者謝金：1,500円/時間 参加費：500円/回 ※令和6年度は体験会としたため徴収しない		

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実②

取組の成果

- 回を重ねるごとに少しずつではあるが人数が増加している。
- 公立中学校に活動場所を借用できるようになり、場所の調整がスムーズになった。

今後の課題と対応方針

【課題】

○学校の状況で活動場所が変更になることがあり、場所の関係で生徒が参加できないことがあったため、場所の統一化や生徒の移動手段が課題となってくる。

【対応方針】

○学校の施設ではなく、公共施設の借用等を検討する。
○生徒の移動範囲を考慮した場所で統一することで、参加しやすい状況をつくる。また、コミュニティーバス等の活用についても検討する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

取組事項

○実証事業の段階では、活動に参加してもらうことを優先的に考え、参加費を無くす中で、補助金に頼らない運営体制の構築を進める。

地域クラブに係る経費

■イニシャルコストの分析

消耗品費（100～200千円）

■ランニングコストの分析

消耗品費（30千円/年間）

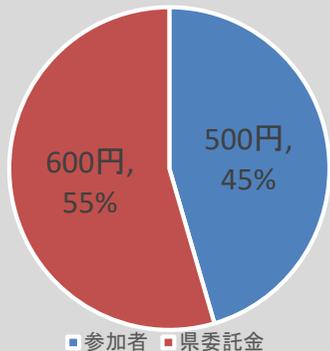
指導者謝金（4.5千円/1人1回あたり）

指導者保険料（1,850円/1人あたり・年間）

事務局人件費（4.5千円/回）

持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

生徒一人あたりにかかる経費に対する負担割合



○最低限必要な経費（1競技あたり）

（指導者謝金×3時間×1人+事務局人件費×3時間×1人分+保険料）

÷参加生徒10人（想定）＝生徒一人あたりにかかる経費

（1,500円×3×1人+1,500円×3×1+1,850円）÷10＝1,100円

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等②

取組の成果

○令和6年度については、1競技1回あたり1,100円の経費がかかっているものの、茨城県からの委託金を活用し、参加日を徴収せずに運営できた。今後は、補助金に頼らない自走できる運営づくりが必要となる。

参加者数を増やすまたは参加費を増額する等の検討をする必要がある。

地域クラブ年間経費/1競技あたり

【支出】

項目	金額	該当人数	回数/年	負担額	
指導者金	5,000円	1	42	210,000	4.12.3…月2回/その他月…月4回
保険料	1,850円	1	1	1,850	
事務局人件費	4,500円	1	42	189,000	1,500円/h
その他消耗品等	30,000円	1	1	30,000	
				430,850	

【収入】

項目	金額	該当人数	回数/年	負担額	
参加費	500円	862	42	431,000	21人/回参加者数
				431,000	

※保険料は参加者負担

今後の課題と対応方針

○令和7年4月から先行実施の4競技については、会費の徴収を行い、他競技については、体験会とし、参加者数の増加を図る。

○指導者謝金を負担するためには、参加者の増加が必要になるため、現在実施しているチラシや電子端末配信の周知以外のSNS等を活用した広報活動も拡大していく必要がある。

○補助金や公費に頼らない仕組みづくりとしてふるさと納税の活用や、企業等の協賛も検討していく必要がある。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 キ：学校施設の活用等

取組事項

- 現在実施している競技については、公立学校施設（庭球場・体育館）を活用して実施している。
- 各中学校の体育施設を訪問し、各競技の備品やコート大きさ等の確認を行った。
- 各中学校へ訪問し、事業への理解を促し施設の利用について調整を行った。

取組の成果

- 1・2月の活動（全6回開催）において、すべての日程を学校体育施設を借用し利用し活動することができた。
- 施設の鍵開け等について事務局で行うことで教諭の負担削減に努めた。

今後の課題と対応方針

- 今後、地域クラブが増えることを考えると、現在行っている一般の学校施設開放事業との調整が必要となるため、条例や規則等の改正を検討する必要がある。
- 人事異動等で先生が変わるたびに事業趣旨の理解を求めることが必要となる。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

令和6年8月よりNPO法人かしまスポーツクラブと業務委託を締結し、地域クラブ活動への取り組みを始めた。学校や各種団体との調整や打ち合わせ等を実施し、12月に体験会（3競技）を実施した。令和7年1月から地域クラブ活動として、4競技（バスケットボール・バドミントン・ソフトテニス・）また、鹿嶋市剣道連盟主体のかしま剣道教室も同月から活動を開始した。かしま地域クラブは、かしまスポーツクラブ関連の競技実践者を主に指導者として協力いただいております。今後も継続的に指導者募集を行っていき、参加者がまだまだ少ないが、参加生徒のつながりを通じた生徒の理解促進にも注力していく。

また、かしま剣道教室のように連盟や協会等が主体となり、新たな受け皿になり得る関係団体へのアプローチも実施していき、生徒の選択肢の拡充に努めていき、参加者の増加に繋げていく。

●成果の評価

部活動に変わる新しい活動を開始するということで、当初の予定と大きく変わってしまった。今後は、より一層委託先や関係団体、学校との密な連携が必要になる。回数を重ねることに参加者が徐々にではあるが増えてきている。令和7年9月から休日の部活動が無くなるように進めているため、そこまで生徒への周知をSNS等を活用した広報活動に注力していく必要がある。

●今後に向けて

持続可能な活動とするためには、受益者負担でまかなうことを基本とした活動とする必要がある。参加費以外の収益（ふるさと納税・企業等からの協賛）について検討をしていく。

生徒から「楽しかった・またやりたい」などポジティブな声をたくさんいただいたため、活動内容は、生徒のニーズに合ったものを実施できたと認識している。活動をどのように周知していくか、地域クラブの認知をどのように広めるかなど広報活動に力を入れ、多くの生徒が参加できる地域クラブを展開していく。

2.実証内容と成果③

アンケート結果・広報資料

12月22日（日）に開催した、かしま地域クラブ体験会の募集を12月上旬から市内公立中学校の生徒へ電子端末へ送付。

地域クラブ参加者募集のチラシについては、市内小学6年生及び中学生へ紙媒体と電子端末への配布を学校を經由し実施した。



鹿嶋市地域クラブ体験会
日時：12月22日（日）
 午前の部：10時～12時
 実施種目：ソフトテニス（上限30名）
 午後の部：13時～15時
 実施種目：バドミントン（上限20名）
 卓球（上限30名）
場所：鹿嶋中学校（体育館・庭球場）
参加費：無料
参加申込方法：URLまたはQRコードより電子申請
 （申込期限：12月17日（火）まで）
URL：https://logoform.jp/form/kkr5/821121

【持ち物】
 ・ラケット
 ・競技シューズ
 ・タオル
 ・水分

※雨前の部ソフトテニスについては雨天中止です。
 実施可否は12月21日（土）13時に態度決定し、かしまスポーツナビでお知らせします。
かしまスポーツナビはこちら

お問い合わせ先
 鹿嶋市教育委員会事務局
 スポーツ推進課
 TEL：0299-82-2911（内561）
 メールアドレス：
 sports1@city.ibarakikashima.jp

主催：鹿嶋市教育委員会・NPO法人かしまスポーツクラブ



一度来て、新たな体験を!!

地域クラブ参加者募集
2月・3月限定 参加費無料

参加できる競技や日時、場所は裏面をご確認ください。
1回からの参加も大歓迎です!
新たな体験してみませんか?

【問合せ】
 かしま地域クラブ事務局
 （NPO法人かしまスポーツクラブ内）
 担当：園岡 携帯：090-8942-1526

2・3月体験会申し込みはこちら
 (Logoフォーム)

地域クラブの詳細についてはこちら
 (管理アプリ Spm)

鹿嶋市は、子どもたちが「生涯にわたってスポーツ・文化芸術活動を楽しむ環境を作る」ため、地域クラブ活動を推進しています。
 NPO法人かしまスポーツクラブでは卓球、バドミントン、バスケットボール、ソフトテニスを楽しむ場を用意しています。
 2月と3月については無料での参加に変更しました。
 ぜひ、この機会に新たな体験をしてください。1回だけの参加も可能です。

実施競技&スケジュール 【1回あたり3時間程度】

実施日	2/16 (日)	2/22 (土)	2/23 (日)	3/16 (日)	3/23 (日)
卓球	13:00～ 鹿野中		9:00～ 鹿野中	9:00～ 鹿野中	9:00～ 鹿野中
バドミントン	13:00～ 鹿島中	13:00～ 大野中		13:00～ 鹿島中	13:00～ 鹿島中
バスケットボール	13:30～ 平井中	13:30～ 平井中		13:30～ 平井中	13:00～ 鹿島中
ソフトテニス	9:00～ 鹿島中		9:00～ 鹿島中	9:00～ 鹿島中	9:00～ 鹿島中

1回の練習メニュー例

【バドミントン】
 ストレッチ
 ランニング
 フットワーク
 基礎打ち・ノック
 試合形式（シングルス・ダブルス）

【ソフトテニス】
 フォアハンド2本打ち
 バックハンド2本打ち
 フォアボレー
 バックボレー
 ハーフボレー
 サーブ練習
 試合形式3セットマッチ

参加者の声

Aさん テニス
 Bさん バドミントン

地域クラブ活動を身分に合った楽しいと感じ、学校とは指導をしてくれて違う友達が出来ました。良かったです。

指導者からのメッセージ

地域クラブでは楽しい体験が待っています。
 基礎練習をはじめとした様々な練習メニューを新しい友達と協力して励み、思い出を作りましょう。
 皆さんとともに素晴らしい時間を過ごせることを楽しみにしています。

専任さん
 バスケ部
 指導者

【生徒への参加啓発チラシ】

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【バスケットボール】



【卓球・バドミントン】



【ソフトテニス】



【剣道】

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



●ステークホルダー

学校，スポーツ活動団体，教育委員会

●経過

令和5年度より検討委員会を設置し，運動・文化活動における地域クラブの実施に向けた検討を開始した。

●実施内容

令和6年12月に地域クラブ体験会の実施

令和7年1月から地域クラブ活動を開始

(バスケットボール・バドミントン・ソフトテニス・卓球)

鹿嶋市剣道連盟主体のかしま剣道教室も同月活動を開始

いずれの活動について市内外から参加可能なものとしている。

●実施にあたって生じた課題

- ・指導者の確保…指導者不足のため実施できない競技もあった
- ・参加生徒への周知方法…紙媒体や電子端末等を活用し，周知しているが参加する生徒があまり増えなかった
- ・持続可能な組織づくり…かしまスポーツクラブに委託しているが，今後競技が増えていく場合人員不足が課題となる
- ・道具の管理…各競技の道具を事務局で管理するにも場所が限られるため，学校施設等へ常設できないか協議が必要

●今後の展望

本市においては，令和7年8月末で休日部活動を実施しなくなる。年度当初より保護者の理解を得るために地域クラブの趣旨や事業説明について資料やPR動画を用いて説明を行う。

3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

時 期		令和6年12月頃まで	令和7年1月頃から 令和7年8月 まで	令和7年9月以降
学校 部活動	平日	今までどおりの部活動を実施		
	休日	今まで どおりの 部活動を 実施	学校部活動を実施して よいが、各部活動で地 域クラブ活動への移行 も検討する	休日の学校部活動は 実施しない ※ただし、部活動と して、休日に練習 試合や大会参加は 可能
地域 クラブ 活動	休日	地域クラブ 活動 実施の準備	準備ができた活動から地域クラブ活動を開始	